

委員長挨拶

青年技術士交流会に興味を持っていただき、また、このページにアクセスしていただきまして、ありがとうございます。

令和3年4月1日より、日本技術士会中国本部、青年技術士交流委員会の委員長を仰せつかりました、新淵大輔（にいぶち だいすけ）と申します。

まずは、私自身のことについてお話をさせてください。

私は神奈川県の川崎市に生まれ、これといった明確な夢があるわけでもなく、高校でも理系の科目から逃げた、消極的な文系人間でした。そんな私を、唯一受け入れてくれた大学で、環境問題を学ばせていただき、それがきっかけの一つとなって、元文系ながらも、環境系のコンサルタントに就職させていただくご縁をいただきました。

しかし、身の周りは、当然のように理系のバックグラウンドを持ち合わせた先輩や同僚ばかり。そんな彼らに舐められまいと思っていた中で、知った資格の一つが技術士でした。運よく技術士第一次試験に合格させていただいた後、青年技術士交流会とご縁をいただき色々楽しませていただきましたが、その頃の私は、技術士というのは、「定年近くまでに取れたら御の字」な資格くらいの感覚でしかありませんでした。

けれども、青年技術士交流会の数々の活動に参加し、技術士を目指す仲間たちと出会い、交流していくうちに、私も技術士第二次試験に挑戦してみようかという思いが湧いてきました。

会社で技術士になると言ったら笑われたのに、筆記試験に合格。そこまではいいものの、口頭で二度の不合格という厳しい現実。所詮文系人間には合格できない資格だと自棄になり、私の人生には技術士は不要だ、と、一時期技術とは関係のない道に進んだものの、それでも青年技術士交流会には、なんだかんだで顔を出していました。

そして、同じように文系人間であり、私よりも何度も筆記試験で不合格になっているのに、最終的には合格を掴み取った仲間に触発され、ついには環境部門に合格させていただきました。

青年技術士交流会の活動で得た学びと気づき、交流の楽しさ、そしてご縁が、私を技術士の合格に導いてくれただけでなく、私の人生に彩を与えてくれたと信じております。

だからこそ、今、私は、青年技術士交流会を通じて、恩返しをしたいと思っておりますし、いかに素晴らしい会なのか、皆さんにご紹介させていただきたいと思っております。

青年技術士交流会は、中国 5 県の 45 歳以下の若手技術士、および技術士を目指す人たちを中心とする、技術者の活動・交流を通じて、地域社会への貢献と技術士の地位の向上を目的とした会です。

青年技術士交流委員会では、ほぼ月 1 回、だいたい第 2 水曜日に活動している、「青年技術士交流会例会」を中心として、交流会を通じた勉強会のほかに、主に理科教室を中心とした社会貢献活動や、メンバー同士自己研鑽に励みあい、お互い切磋琢磨を行っております。「基本的に 45 歳以下の、若手技術士と、修習技術者を中心とした会」ということもあり、若い視点から、「挑戦」「成長」「発見」を軸として、私たちのレゾナートルである「技術」の視点を持ちつつも、様々なチャレンジングでエキサイティングな

活動を繰り広げてきたと自負しております。

分野を限らない幅広い視点から学びと気づきを得る例会、子供と一緒に自らも学び「理科の楽しさ」を伝える社会貢献活動、まるで部活やサークル活動を思い出す英語学習やバンド活動等様々なアクティビティ、社会貢献やイベントを通じた国際交流、中国地方のみならず全国の（もしかしたら全世界の）技術士やプロフェッショナルエンジニアと繋がる場の提供等を行っております。

あなたにとって、「会社や家庭の延長だけでは決して得られない、技術者としての最高の自己実現の場」を、提供させていただけるよう、これからも励んでまいります。

ここまで読んでくださった皆さんに、一つ提案がございます。

そう。私たちと一緒に、中国本部の青年技術士交流会に参加してみませんか。

参加する条件は三つ。

①45歳以下、或いは技術士試験合格3年以内の、技術士もしくは技術士を目指している人であること。

（気持ちが45歳以下ならOKです。）

②中国地方に勤務または在住していること。（中国地方以外の方は、他の地方の青年技術士交流会を紹介いたします。）

そして、何より重要な条件は、

③仕事をして、家に帰り、寝て起きて、会社に行く。その日常に、「青技交での活動」が加わることになるかも知れない。そんな会に、参加してみる「勇気」を持ち、行動を起こせること。（勿論、退会は自由です。）

この三つの条件を満たせるのであれば、誰にでも参加できる権利がございます。

私は、勇気をもって青技交の門を叩き、楽しんでもくれる人の顔を、何人も見てきました。

創る人、旅立つ人、着実な人、熱い人、導く人、楽しませる人、学ぶ人、不屈の人…

その誰しものが、期待と不安を抱きつつ、勇気をもって、青技交に一步を踏み込んできてくれて、歴史を紡いできてくれました。

それが、私たち、中国本部青年技術士交流会の良さであり、強みであり、自慢でもあります。

私たちと一緒に、科学技術をもとに、将来に思いを馳せながら、今を楽しんでみませんか。

[ここ](#)から参加を申し込むこともできます。門戸は常に開いております。

あなたの参加を、お待ちしております。

参加される方も、興味本位でこのページをご覧になられた方も、冷やかして来られた方も、どうぞ、ご期待ください。

令和3年4月1日

公益社団法人 日本技術士会 中国本部
青年技術士交流委員会 委員長 新淵 大輔